

# 浜松市

入院ではなく地域でその人らしい生活を送れるように

浜松市では、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に取り組むにあたり、昨年度は浜松市障がい者自立支援協議会「地域移行・定着専門部会」のワーキングを活用し、3つの取組みと研修会や意見交換会を実施してきた。今年度より「退院して地域で暮らそう専門部会」と名称を新たにし、既存のワーキングにアウトリーチを加え4つのワーキングを設置した。この4つのワーキングで構築を目指す。

1 令和元年度の達成目標と現時点での進捗状況

令和元年度の達成目標	現時点での進捗状況
1. 精神障がいの方を対象とし地域移行支援利用を28件(前年度5件)	9月末時点で利用は5件
2.	
3.	

## 2 圏域の取組における強みと課題

### 【特徴(強み)】

- ・基幹相談支援事業所をはじめ、地域支援事業者の充実。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
病院へ地域援助事業者が入っているような連携	事例検討を実施する医療機関を増やし理解を進める。	行政	病院に対して地域移行に向けた動機付け及び医療と福祉の顔繋ぎと連携
		医療	事例提供、地域移行に向けた支援の再考
		福祉	事例検討会への参加、医療と福祉の関係づくり
		関係機関・住民等	
再入院率の高値	静岡県精神障害者地域生活支援訪問事業を活用し治療中断者や未受診者の早期治療を目指す。	行政	必要なケースの情報集約
		医療	アウトリーチへの協力
		福祉	アウトリーチの必要ケースの情報提供
		関係機関・住民等	
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和元年度末)	見込んでいる成果・効果
事例検討実施病院数	1	4	病院への地域移行に対する理解促進
静岡県精神障害者地域生活訪問事業の活用	0	5	事業化に向けたニーズと課題の把握
地域移行支援利用	5	28	意欲喚起と地域移行の促進

### 3 病院（医療機関）との連携状況

- ・現時点で市内2病院において事例検討ワーキングを実施していて、今後更に11月に1病院で実施、1病院で検討中である。

## 4 現時点での課題・悩み

- ・病院と地域援助事業者の連携づくりのために事例検討ワーキングを開催しているが、病院によっては開催が難しく、どのようにして新たな病院の理解を得ていくかが課題。
- ・ピアサポート人材の発掘が課題。現時点で県主催の研修に当事者5名が参加予定。
- ・アウトリーチを市単独で行っている自治体のノウハウを知りたい。